





快適でより良い「農と福祉」のために  
私たちには何かできるだろう。  
子どものころ田んぼで遊んだ  
あの時のようなわくわく感。  
新しい仲間と  
新しい事を成し遂げる充実感。  
やる人が楽しいと感じられるように  
農福連携サポーターは「しごと」をします

### 農福連携サポーターイメージ図



※資格、条件で不明な点がありましたら、お気軽にお問い合わせください。

### 講座詳細 Course Introduction

- 講習期間**
- 前期 第1日 令和3年6月20日(日) 10:00~17:00  
※6月20日のみ会場が上越市市民プラザ(上越市土橋1914-3)となります。
  - 第2日 令和3年6月21日(月) 9:00~16:00
  - 後期 第3日 令和3年8月28日(土) 9:30~16:30
  - 第4日 令和3年8月29日(日) 9:00~16:00

- 講習会場** 6/20会場 上越市市民プラザ(上越市土橋1914-3)、無料駐車場有り  
6/21、8/28、29会場 高田城址公園オーブンプラザ(上越市本城町8-1) ※無料の駐車場有り  
今年度の開催につきましては農林水産省農山漁村振興交付金農福連携人材育成支援事業「農福連携サポーター育成・派遣事業」の交付金で行われるため受講料は無料です。  
令和4年度からは有料(4万円程)を予定しています。  
36名 (応募者多数の場合は申込書記載の応募理由等を参考に審査をさせていただきます。)  
**定員** 裏面をご覧ください  
**応募方法** 令和3年6月10日(木) 17時必着 ※早めの申込みをお願い致します。  
**募集締切** 令和3年6月10日(火) までに申込みいただいた全員に連絡します。  
**決定通知**

### 講座内容 Course Content

1. 農福連携サポーター概論、業務/講座例：農福連携サポーターの役割と留意点等(一般市民も参加可能な公開講座を予定)
2. 障がい者就業支援計画の作成/講座例：国営福祉と農園芸分野での障がい者就業等
3. 障がい者特性の理解/講座例：障がい者特性と農園芸分野の課題
4. 作業支援体験学習/実習例：障がい者特性に配慮した作業支援体験
5. 個別面談を通じて講座修了後の実習、活動について、受講者の地元支援者(地域振興局普及指導センターの担当者、社会協議会関係者など)と調整修了後の障がなきも併せて個別の面談を行います。
6. 昨年度受講された受講生の意見交換

### 農福連携サポーターとは

障害者福祉サービス事業所等で働く障がい者や生活困窮者、高齢者等が、農家等の依頼を受けて作業を請け負う際に調整役を担い農福連携を円滑に進める人材です。



作業支援・指導



問題解決



農福連携の普及

就業中に農家の間に立ち、農家が依頼する作業を拒否、そのことを支援者及び就業者に説明し、安全に、効率的に、楽しく作業を行う支援をする。

就業上生じた問題について双方の話を聞き直し、連絡、相談する事で解決に導く。

農家分野における障がい者等の活動を推進する「農福連携活動」を積極的に普及し推進する。

### 応募資格

実務的な人材を育成するために下記の応募条件いずれかに該当する方を応募資格とします。  
ご不明な点等お気軽にお問い合わせください。



農業もしくは福祉経験3年以上

①農業で実務または指導等  
②福祉事業所等で障がい者の支援業務等  
上記経験いずれかを3年以上有する方



4年以上の学習経験が見込める

農業、福祉等を進修で4年以上学習した  
若しくは学習の見込みのある方



国営福祉士

国営福祉士あるいは初級国営福祉士の資格を  
有している方

### 応募条件

安定・継続的な運動を実践するため、応募の際は以下の事項を了承できる方を対象とします。  
ご不明な点等お気軽にお問い合わせください。



全て受講できる方

専ら就業、カリキュラムを全て受講できる方  
(欠席や途中退席はご遠慮願います。)



現場実習15時間以上

講座修了後、令和3年6月までに指定する農場や  
農家で実習15時間以上、現場実習を行うことが  
出来る方。(農場等の調整は行います)



(仮称)えちご農福連携協議会への会員登録

講座修了後、(仮称)えちご農福連携協議会に会員登録し  
農福連携サポーターとして所属内の農福連携活動の  
積極的な普及・推進する方

私たちと一緒に農福連携を地域社会に広げていきましょう  
今回の応募条件は、農業と福祉のネットワークを構築し雇用創出における農福連携の発展を支える人材を育成します